

4月24日早朝、濁河からひとり飛騨頂上へ向かう。今回の目的は小屋の様子を見に行くこと。例年になく今年の冬は大雪であった。小屋は無事なのだろうか。

森林限界を超えると、そこは別世界。例年この時期、所々にハイマツなどの植物が、ちょっとだけ顔をのぞかせているのが普通だが、今年に限っては真っ白な雪の世界しか見えない。やはり今年は違うぞ。

飛騨頂上に到着すると真っ青な空が広がり、連なる稜線の向こうに御嶽の山頂である剣ヶ峰(3,067 m)を望むことが出来た。絶景。稜線は太陽の光に輝いている。真っ白な斜面

の上を時折雲の影が流れてゆき、まさに天空の別天地と言うのがふさわしい。

しばしそんな景色に見とれていると、時間がたつことを忘れてしまう。肝心な山小屋はというと、大量の雪に囲まれてはいるが、特に問題はなさそうだ。ひとまず安心だ。

ここは標高2,800 m。4月といえども日が沈めば気温は氷点下となる。長居は無用と足早に小屋を後にした。(写真・文 市川典司)

五の池
小屋たより

